

研究機関：広島大学

研究課題名	CT を用いた COVID-19PCR 陽性患者のトリアージに関する検討
研究責任者名	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2022 年 12 月 31 日
対象者	2020 年 12 月 23 日から 26 日の間に、広島県から委託され、広島大学病院が主として行った COVID-19PCR 陽性患者のトリアージにおいて CT が撮影された患者さん。
意義・目的	<p>COVID-19 感染が急速に広まる中、COVID-19 患者の適切なトリアージが求められています。しかしながら、軽症と判断され、自宅待機中に死亡した患者の報告もあり、適切なトリアージは決して簡単ではありません。一方で、CT を用いた COVID-19 患者のトリアージの有用性が報告されています。</p> <p>そこで、本研究は、CT を用いてトリアージされた COVID-19PCR 陽性患者さんの CT 所見について、後ろ向きに検討し、重症度やそれに関わる因子を調べることを目的としました。これを明らかにすることにより、PCR 陽性 COVID-19 患者の適切なトリアージに繋がる可能性があります。</p>
方法	<p>本研究は、2020年12月23日から26日の間に、トリアージ目的にCTが撮影されたPCR陽性 COVID-19患者さんのCT画像データを用いて、重症度やそれに関わる因子を調べ、統計解析を行う研究です。研究に必要な調査項目は、患者さんの性別、年齢、身長、体重、PCR確定日、体温、脈拍、SpO2、症状、基礎疾患、症状、重症度、CTの画像データ、血液データです。広島県が保管している画像、データから個人を特定可能な情報を削除した上で、解析に用います。</p>
試料・情報の管理責任者	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5257 広島大学病院 死因究明教育研究センター 助教 福本航</p>